

# 学級活動「(1) 学級や学校生活における生活づくりへの参画」の学習過程から

小学校学習指導要領（平成29年公示）解説 特別活動編 文部科学省 参照

次の課題解決へ	<b>①問題の発見・確認</b>	<b>②解決方法の話合い</b>			
	<p>活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子供がアクセスする環境づくり（学級会コーナーなど）</li> <li>・学級、学校生活の問題の見だし</li> <li>・議題の選定（自治的活動 必然性 緊急性）</li> <li>・輪番制による司会グループの役割分担</li> <li>・活動計画作成（担任・司会グループ・提案者）→ 全体で</li> <li>・提案理由の内容の吟味 （問題点や現状は、どのようなことをし どのような姿を目指し 活動の見通しは）</li> <li>・話合いの柱（子供の経験に応じて 実践場面を支える内容を）</li> <li>・学級会ノートの配布</li> <li>・解決への意識を高める （情報提供 自分事として捉えるように）</li> <li>・学級会への取組に関わる自己のめあての設定</li> <li>・出し合った意見の収集と整理 情報量の確認と提示の工夫 不明確な内容の確認</li> <li>・問題意識を高める意見交流の場の設定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・司会グループ 役割紹介とめあての発表</li> <li>・出し合った意見を基に比べ合うことから始める話合い 子供の実態や議題等により出し合うことから始める話合い</li> <li>・賛成、反対、心配の理由に着目し意見を絞り込んでいく</li> <li>・絞り込んだ意見の内容を発言の理由を基により明確にしていく</li> <li>・心配や反対の部分について全体で捉え直しよりよい内容に</li> <li>・賛成意見の理由の内容と提案理由の内容の関連</li> </ul> <p>（話合いの場面での折り合いの状況と実践活動をつなげて振り返ることができるように意識して話合いの状況を捉えておく）</p>			
	<b>⑤振り返り</b>	<b>④決めたことの実践</b>	<b>③解決方法の決定</b>		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りの内容を基に 成果と課題の内容を確認</li> <li>・成果と課題をリフレクションし もっとよくするには 大切にしたいことは 変えていきたいことは どうやって変える？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事後の活動への見通しをもつ</li> <li>・役割の進捗状況の確認 （共有できる場を）</li> <li>・提案理由にアクセスできる掲示を</li> <li>・実施後の振り返り 成果と課題 提案理由、話合いの状況に関わらせて</li> <li>・終末の助言 活動の状況と提案理由 話合いの場面を想起 （学級会ノートの構成の工夫も）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・合意形成に向かうコンセプトを（子供の収束に向かう発言から）</li> <li>・絶対解ではなく納得解であることの理解の下 「今回は」ということから合意形成へ</li> <li>・振り返り 自分のめあてに対して 前回の学級会と比較して</li> <li>・終末の助言として 司会グループの労い 話合いの成長点 少数だった意見の価値 実践への期待 次の学級会への課題</li> </ul>		